本報告書は、「やまぐち」からの情報発信、交流・創造へのプロセスと題して、平成27年度事業活動を体系別にとりまとめたものです。

そこには、多くのアーティストとの関わり、作品紹介を通した人々の交流・対話、様々な反響と新たな感動など、この山口の地から発信できた、ひとつひとつの成果があります。

今後も、この施設でさまざまな人々が出会い、対話し、新たな情報芸術の創造と発信の拠点となることを目指し、事業展開を図ってまいります。

ご覧いただき、ご感想、ご意見などをお寄せいただければと思います。

また、この場をお借りして、事業に関わってくださったアーティスト、ボランティア、体験・参加者、観劇者等すべての方々に、深く感謝申し上げます。

平成28年9月
山口情報芸術センター
館長　足立　明男

目　　次

平成27年度山口情報芸術センター収支決算 …… 2
平成27年度山口情報芸術センター組織図 …… 2
平成27年度山口情報芸術センター事業概要 …… 3
[1] アート …… 4
[2] パフォーミングアーツ …… 8
[3] 教育普及 …… 10
[4] 地域開発 …… 22
[5] ラボ …… 24
[6] シネマ …… 26
[7] 主な貸館事業 …… 36
[8] 施設利用状況 …… 36
[9] その他特記事項 …… 36
主な関連新聞記事 …… 37
(参考資料)山口情報芸術センターの活動成果 … 47

平成27年度 山口情報芸術センター収支決算

山口情報芸術センターの収支決算は、施設維持管理費と自主事業費に大別されます。
自主事業費は、次頁からの事業実施経費で、当財団会計処理規程によるものを各事業体系に合わせ整理、表現したものです。

1　施設維持管理費

（支出の部）

科　目	決 算 額 (円)
施設費	174,996,521

＊主な支出は、
①市立図書館を含めた施設全体に係る電気･ガス･上下水道の光熱水料費（44,555千円）
②施設全体に係る清掃･空調設備等保守業務委託料、スタジオに係る舞台機構等の保守業務委託料などの保守管理経費（81,059千円）です。
＊この財源は、山口市からの施設管理運営委託料、雑収入です。

2　自主事業費

（収入の部）

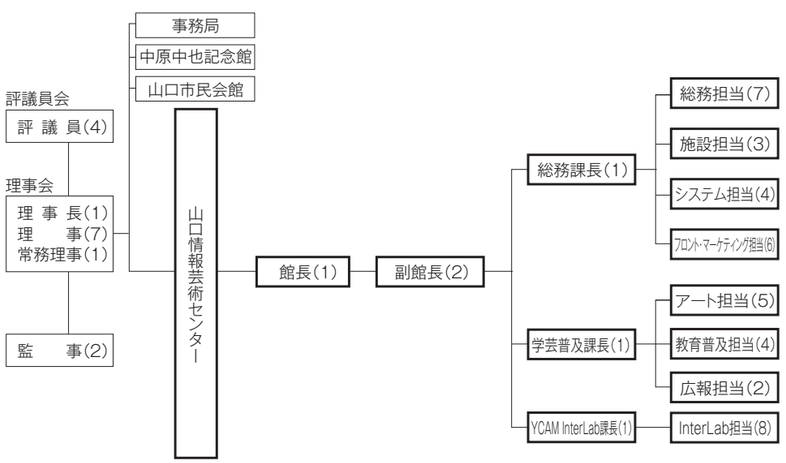
科　目	決 算 額 (円)	備　　考	構成比(%)
チケット収入等	5,155,500	演劇・ダンス等公演・映画に係る入場料収入	2.1
助成金収入	5,338,000	文化庁等による助成金	2.1
雑収入等	4,628,679	ワークショップ参加料、カタログ等販売手数料、寄付金等	1.8
補助金等収入	226,729,971	山口市からの自主事業実施係る補助金、委託金	94.0
合　計	241,852,150		100

＊チケット収入は収入全体の2.1％ですが、演劇等公演のチケット料金の安価設定やアート事業展覧会の入場無料など、鑑賞機会の創出に主眼を置いた取り組みをしています。

（支出の部）

科　目	決 算 額 (円)	備　　考	構成比(%)
人件費	121,717,410	市派遣職員・専門員・副専門員・常勤職員等の人件費	50.3
アート	20,993,321	アート企画展等に係る経費	8.6
パフォーミングアーツ	4,054,611	ダンス・パフォーマンス公演等に係る経費	1.7
教育普及	36,412,710	ワークショップ、レクチャー等に係る経費	15.1
地域開発	1,202,249	調査活動、ワークショップ等に係る経費	0.5
ラ　ボ	1,894,657	研究開発事業等に係る経費	0.8
シネマ	20,761,981	シネマ上映等に係る経費	8.6
共通事業費等	34,815,211	広報費、研修費、アーカイブ、旅費等の共通経費	14.4
合　計	241,852,150		100

平成27年度山口情報芸術センター組織図（平成27年4月1日現在）



※職員数45人（内、兼務7人）

平成27年度 山口情報芸術センター事業概要

1　事業の方向性

山口情報芸術センター・通称「YCAM（ワイカム）」は、展示空間のほか、映画館、図書館、ワークショップ・スペース、キッチンなどを併設したアートセンターです。2003年11月１日の開館以来、メディア・テクノロジーを用いた新しい表現の探求を軸に活動しており、展覧会や公演、映画上映、ワークショップなど、多彩なイベントを開催しています。

現在、私たちを取りまく社会では、コンピューターや通信技術、映像などによる「メディア・テクノロジー」が目まぐるしいスピードで進化しています。これにより、私たちの生活はあらゆる局面で情報化が進み、コミュニケーションのあり方も大きく変わりつつあります。

こうした変化は、経済活動や社会構造の変化へとつながり、「情報化社会」や「グローバル社会」などと呼ばれる、人類がかつて体験したことのない社会的状況をつくり出しました。またその変化は、個人レベルの身体感覚やリアリティ、想像力にも影響を及ぼし、それらを基盤とした新しい表現が世界中で生み出されています。

YCAMは、このような背景のもとに生まれた新しいスタイルのアートセンターです。

市民の皆さまやさまざまな分野の専門家とともにつくり、ともに学ぶことを活動理念としながら、メディア・テクノロジーとの適切な向き合い方、文化基盤としての情報の可能性、さらには人間にとっての情報の意味について、幅広いアプローチで探求をおこなっています。

また、近年ではアートの視点から地域の魅力を掘り起し、新たなつながりや価値を創出し、文化振興の枠を超えてまちの賑わいや中山間地の振興などの地域課題にも取り組んでいます。

そして、これらの過程で生み出される表現や学びを世界に向けて発信し、次世代を担う人材の育成に寄与することを目指しています。

今後も、メディアと芸術の融合をコンセプトとする先端的な芸術表現に取り組むなど、アートセンターとしての独自性を維持しつつ、公共文化施設の役割として、文化の振興を担う市民の皆さまに対して、自己実現、自己変革のきっかけとなるような多様な関わり方を意識した事業展開を図ります。

2　事業の概況

山口情報芸術センター[YCAM]は、開館12年目を迎え、2015年8月には、2003年の開館から11年9ヶ月で入館者が900万人を超えました。

本年度は新たに、バイオテクノロジーを扱うための機材や設備を備えた「バイオラボ」を館内に立ち上げました。ここ数年で、私たちの手に届く身近な技術となってきたバイオテクノロジーと、YCAMがアートや教育、地域などの分野でこれまで積み重ねてきた知識と経験を組み合わせ、新しい表現の可能性や価値観を提案する事業を展開しました。

また、YCAMプロデュースのもと、YCAMの環境やこれまでの知見を背景に、コンパクトな映画製作方法にて、今の時代の映画のあり方を模索・実践し作品を発表していくプロジェクトも新たに始まりました。

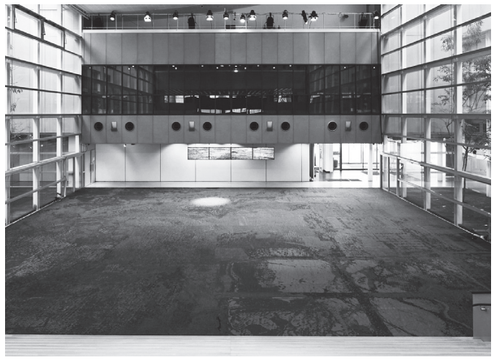
それと同時に、本年度はワークショップやギャラリーツアー、参加・体験型のイベントも数多く開催し、市民の皆さまへYCAMの取り組みをわかりやすい形で還元する機会を積極的に作った一年となりました。

3　各事業総括表

事 業 区 分	事 業 数	入場者数（名）
［1］アート	3	11,169
［2］パフォーミングアーツ	1	10
［3］教育普及	7	19,905
［4］地域開発	2	1,096
［5］ラボ	1	12
［6］シネマ	7	7,561
［7］貸館（件数）	51	6,400
合　計	72	46,153

＊事業区分･事業数の詳細については、次頁からの個別事業(実施月順)の内容をご覧下さい。



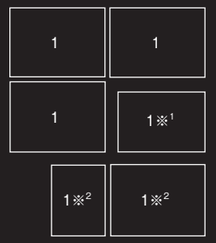












1　　プロミス・パーク—未来のパターンへのイマジネーション

1※[1]【関連】千年村プロジェクト「屋垂れの村—山口市鋳銭司地区和西集落における詳細調査報告」

1※[2]【関連】和西集落ガイドツアー

1　プロミス・パーク—未来のパターンへのイマジネーション

リサーチ:ムン・キョンウォン、原瑠璃彦、千年村プロジェクト
開催日時:11月28日(土)～2016年2月14日(日)
会場:YCAMホワイエ、YCAMスタジオB
入場者数:8,545人(入場無料)

2013年から3年に渡って、韓国のアーティスト、ムン・キョンウォンと共同で「未来の公園」を主題に「プロミス・パーク・プロジェクト」に取り組み、様々な時代、文化、人類の営みが交差する「公園」についてその設立から問いかけ、他領域の専門家とともに未来の公共空間について考察してきました。
本展ではこれまでおこなってきた、文献の調査やフィールドワークによるリサーチと作品制作の集大成として、新作インスタレーションおよび研究成果展示「パーク・アトラス」(公園のアーカイヴ)を公開しました。
新作インスタレーションは、日本の近代産業遺構の廃墟を上空からドローンで撮影した高精細な映像やCGによる映像が多数連結された大規模な映像インスタレーションと、株式会社細尾(京都)とのコラボレーションによる、巨大な西陣織の絨毯が「未来の公園」として生成されていくインスタレーションの2作品です。
研究成果展示では、ゲストリサーチャーや研究協力者とYCAM InterLabが共同でおこなった、過去における公園の系譜の研究調査成果を、マルチ画面によるスライド映像の形式で発表しました。

【関連】千年村プロジェクト「屋垂れの村—山口市鋳銭司地区和西集落における詳細調査報告」

リサーチ:千年村プロジェクト
開催日時:11月14日(土)～2016年2月14日(日)
会場:YCAMインフォメーションスペース
入場者数:不明(入場無料)

千年に渡り営みが継続してきた集落を、建築史、民俗学など他領域の視点から調査をおこなっている千年村プロジェクト。彼らと2015年2月と7月に共同で実施した、山口市鋳銭司地区和西集落での詳細調査の成果を、映像、模型などで公開しました。

【関連】ギャラリーツアー

開催日時:12月5日(土)～2016年2月6日(土)の内10日間(計17回)
会場:YCAMホワイエ、YCAMスタジオB
参加者数:87人(参加無料)

ファシリテーターと共に作品を体験しながら、鑑賞のポイントを発見し、参加者同士でディスカッションをおこなうギャラリーツアーを開催しました。

【関連】和西集落ガイドツアー

ゲスト:菊地暁(民俗学者)、恵谷浩子(ランドスケープアーキテクト)、本間智希(リサーチャー)
開催日時:12月18日(金)
会場:山口市歴史民俗資料館別館鋳銭司郷土館
参加者数:12人(参加無料)

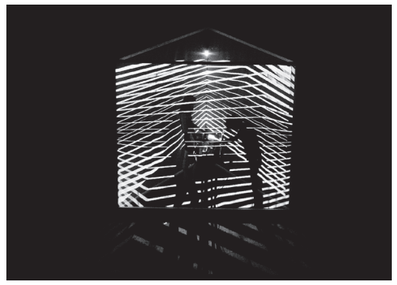
調査に参加した研究者と共に、調査を行った和西集落を歩き、千年村の見方・楽しみ方を体験いただくガイドツアーを開催しました。この集落の特色のひとつである民家の屋垂れを拝見しながら、焼畑堤、熊野神社など、和西集落の特徴的な地点を解説付きで巡りました。

【関連】千年村プロジェクトによる報告座談会

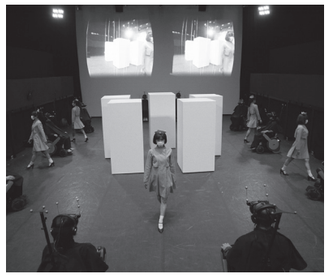
講師:千年村プロジェクト(菊地暁(民俗学者)、恵谷浩子(ランドスケープアーキテクト)、本間智希(リサーチャー))
開催日時:12月19日(土)
会場:インフォメーション・スペース
参加者:18人(参加無料)

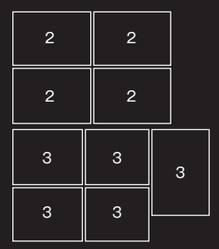
「千年村プロジェクト」とは何か、「屋垂れ」と呼ばれる民家の構造から和西集落をどのように読み解くのか。千年村プロジェクトチームとYCAMチームが展示空間内で新しい地域の見方・楽しみ方をざっくばらんに語りました。







2　sound tectonics#16「ELECTRONIC HIGH EDGE」

3　sound tectonics#17「border」

2　sound tectonics#16「ELECTRONIC HIGH EDGE」

出演:Morton Subotnick+Lillevan、NONOTAK
開催日時:9月12日（土）18:30開場／19:00開演
会場:YCAMスタジオA
入場者数:164人（入場料2,000円他）

電子音響を中心に国内外のアーティストによる最先端のサウンドアートを紹介する、ライブ・コンサート・シリーズの第16弾です。
1960年代初頭からシンセサイザーを用いた音楽活動を展開する電子音楽の創始者の一人で、テクノミュージックの始祖ともされるMorton Subotnickが、映像作家Lillevanとともに待望の初来日を果たしました。
もう一組、2011年のデビューから瞬く間にメディアアートの寵児となった、パリを拠点に活動するイラストレーターNOEMI SCHIPFERと音像作家TAKAMI NAKAMOTOによるアーティストユニットNONOTAKがパフォーマンスを行いました。
日本屈指の音響を誇るYCAMでの豪華2組のパフォーマンスは注目を集め、山口市内はもちろんのこと県外からも多数のお客様にお越しいただき、好評を博しました。

3　sound tectonics#17「border」

アーティスト:Rhizomatiks Research、ELEVENPLAY
開催日時：2016年2月27日（土）、2月28日（日）各日12:00~21:30（1日18ステージ）
会場:YCAMスタジオB
入場者数:体験353人、鑑賞102人（体験・鑑賞料4,500円他、鑑賞料500円）

メディアアーティストの真鍋大度・石橋素らが率いる「Rhizomatiks Research」と演出振付家MIKIKOが率いるダンスカンパニー「ELEVENPLAY」のコラボレーションによる新作ダンスパフォーマンスを公開しました。
本作は1ステージ10人が個別に体験できる形式で、体験者はパーソナルモビリティ「WHILL」に乗り込みヘッドセット型のディスプレイを装着し、コンピュータプログラミングで制御された動き回るWHILLに身を任せながら、リアルタイムのダンサーの動きとバーチャルなダンサーの動きが混在するパフォーマンスを体験者ごとの視点から鑑賞します。最新のAR（拡張現実）技術を駆使し、リアルタイムのダンサーの存在とバーチャルなデータ上のダンサーの動きが混在する、非常に斬新なアイデアに充ちた作品となりました。
なお本作は2015年12月にスパイラルホール（東京）でプレビュー版を発表したもので、今回YCAMで滞在制作を経て、大幅にシステム、コンテンツをアップデートした完全版です。

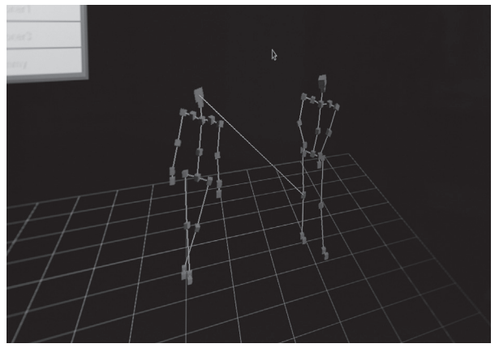
【関連】border installation version

開催日時:2016年3月5日（土）~2016年5月8日（日）各日12:00~18:00（1日22回）
会場:YCAMスタジオB
入場者数:体験733人、鑑賞1,155人（入場無料）

「boder」のインスタレーションバージョンを公開しました。

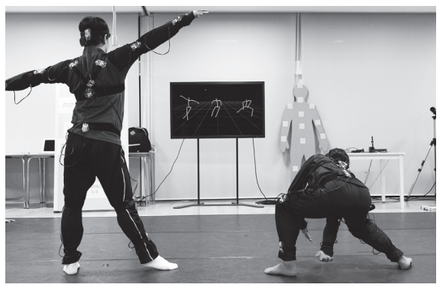
PERFORMING ARTS

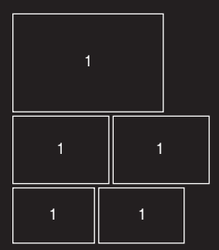












1　Reactor for Awareness in Motion(RAM= ラム) ダンスワークショップ

1　Reactor for Awareness in Motion(RAM=ラム)ダンスワークショップ

講師:笹本龍史(ダンサー)、YCAM InterLab
開催日時:2016年3月4日(金)
会場:YCAMスタジオA、YCAM楽屋7·8
参加者数:10人(参加無料)

2010年より展開している、ダンスと創作と教育のためのツールを研究開発するプロジェクトです。テクノロジーとダンスのより高度な融合を目的に、それぞれの専門家が集い、モーション·キャプチャー·システムやソフトウェアの研究開発を継続してきました。今年度は、これまでに開発したモーション·キャプチャー·システム「MOTIONER」を用いた定員限定のワークショップを開催しました。ツールのさらなる普及とともに、あたらしい身体感覚の発見を促す機会を幅広い層に向けて提供しました。

【関連】"Dividual Plays−身体の無意識とシステムとの対話"YCAM InterLab+安藤洋子

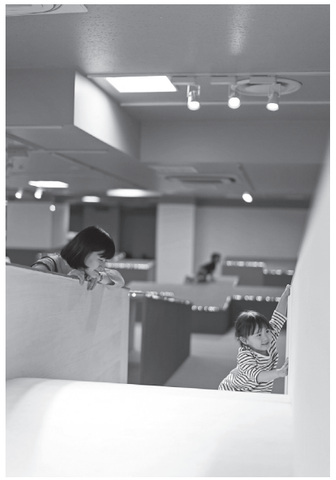
出演:小尻健太、島地保武、宮下今日子、安藤洋子
ゲスト:4日／伊藤亜紗(東京工業大学リベラルアーツセンター准教授)、5日／稲見昌彦(東京大学教授)
開催日時:2016年2月4日(木)、2月5日(金)
会場:KAAT神奈川芸術劇場大スタジオ
入場者数:不明(入場料3,000円他)

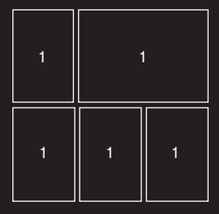
国際交流基金が実施した「国際交流基金障害×パフォーミングアーツ特集2016」にて、2014年度にYCAMで制作·上演した「Dividual Plays」の上演と、専門家を招いてのアフタートークを行いました。

EDUCATIONAL









1　コロガルガーデン for LIL KIDS

1　コロガルガーデン for LIL KIDS

開催日時:4月29日（水）～5月3日（日）
会場:伊勢丹新宿本館

株式会社三越伊勢丹からの委託で、同社が展開する子ども向け教育プロジェクト「cocoiku（ココイク）」のために、子ども向けの新しいスタイルの学び場を開発し期間限定で開催しました。
YCAMが2012年から継続的に展開している子ども向け遊戯施設「コロガル公園」シリーズを未就学児でも体験できるよう新たに制作した作品です。不定形で起伏のある空間に、光や音など様々な「メディア」を使った仕掛けが埋め込まれており、創造性を発揮し新しい動きやルールを生み出していくことを触発します。子どもたちがメディアテクノロジーと身体を結びつけた先に生まれる新しいあそびの可能性に触れる機会を提供しました。

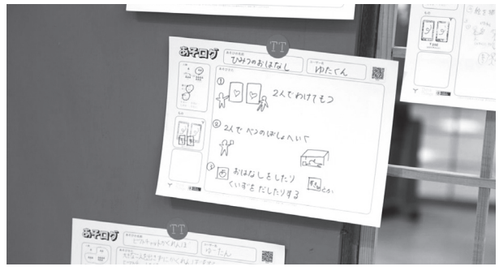
【関連イベント】伊勢丹cocoiku

開催日時:7月6日（月）～9月16日（水）
会場:伊勢丹本館

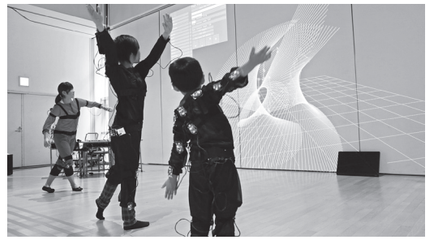
現場で活躍しているプロのクリエイターやスペシャリストを講師に招いたワークショップを中心に様々なプログラムを展開。YCAMではこれまでに開発した実績ある教育プログラムを提供しました。

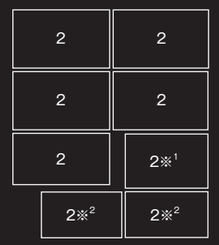










2　Think Things—「もの」と「あそび」の生態系（エコシステム）

2※[1]【関連】サウンドワークショップ

2※[2]【関連】RAM ダンスワークショップ

2　Think Things—「もの」と「あそび」の生態系（エコシステム）

開催日時:7月18日（土）~9月27日（日）
会場:YCAMホワイエ、YCAMスタジオB、YCAM2階ギャラリー
入場者数:11,960人（入場無料）

人間の根源的で創造的な行為「あそび」とそれを引き出す「もの」。このテーマをもとに、展覧会そのものを「実験と創造の場」として捉え、来場者自身がYCAMの研究開発のサイクルに参加する仕組みづくりをめざす参加型展覧会を開催しました。「あそび」についての知恵がいかに創られ発展していくのか、会期中を通してその生態系を読み解いていきます。来場者は、YCAMが開発してきたハードウェアやソフトウェアを応用した遊びの道具を使ってオリジナルのあそびや道具を生み出します。そのアイデアは「あそログ」と呼ばれるあそびの仕様書に記録し、展覧会場やインターネット上の特設ウェブサイトへ収蔵していきます。その他にも、会期中におこる様々なイベントやワークショップを通じて、人から人へ、あそびのアイデア自体が流動的に循環していく生態系を来場者と共につくりあげました。
本展覧会では、来場者同士で創造と共有が繰り返され、自分のアイデアを他の人に共有することで生まれる共創の可能性を実践する試みとなりました。

【関連】感覚アスレチック

開催日時: 6月13日（土）10:00~12:00、14:00~16:00
会場:YCAMスタジオA
参加者数:17人（参加無料）

【関連】walking around surround

開催日時:6月27日（土）10:00~12:00、14:00~16:00
会場:YCAMコミュニティ・スペース
参加者数:12人（参加無料）

【関連】サウンドワークショップ

講師:一楽儀光（サウンドアーティスト）、YCAM InterLabスタッフ
開催日時:7月26日（日）15:00~17:00、8月16日（日）17:00~18:00
会場:YCAMスタジオA（7月26日）、YCAMスタジオB（8月16日）
参加者数:10人（7月26日/参加無料）

【関連】あそびハッカソン

開催日時:8月2日（日）、8月30日（日）各日14:00~17:00
会場:YCAMスタジオB
参加者数:24人（参加無料）

【関連】JackInワークショップ:Parallel eyes~視点交換鬼ごっこ~

講師:笠原俊一（ソニー・コンピュータ・サイエンス研究所研究員）、YCAM教育普及スタッフ
開催日時:8月22日（土）、8月23日（日）14:00~16:00
会場:YCAMスタジオA
参加者数:18人（参加無料）

【関連】RAMダンスワークショップ

講師:笹本龍史（ダンサー）、YCAM InterLabスタッフ
開催日時:9月6日（日）14:00~16:00
会場:YCAMスタジオB
参加者数:12人（参加無料）

















3※1	3※1
3※2	3※2
3※3	3※3
3※4	3※5

3※1 ● vol.1『アグリ』

3※2 ● vol.2『バイオ』

3※3 ● vol.3『キッチン』

3※4 【関連】●カルティベーション・パーティー 2015 春—種まき

3※5 【関連】● YCAM マルシェ

3　アグリ・バイオ・キッチン—『食べる』のリテラシー

会場:YCAMスタジオA

人間の生活に不可欠な「食」。近年バイオテクノロジーなどへの注目度が高まっている食分野におけるメディアテクノロジーの可能性を探り、新しい生き方や暮らし方の提案をおこなうプロジェクトを展開しました。
「アグリ(農業)」「バイオ(生物/生命)」「キッチン(台所/料理)」の3つのテーマから未来の食のあり方に対して考察を深めるべく専門家を招き、ワークショップや市民参加型の勉強会を行いました。市民と協働しながら食のリテラシーを更新していくことで、地域課題の解決や新たなソフトウェア/ハードウェアにつなげていくことを目指します。

●vol.1『アグリ』

講師:津田和俊(大阪大学/ファブラボ北加賀屋)
開催日時:9月19日(土)14:00~16:00(Yamaguchi Mini Maker Faire2015内)
参加者数:52人(参加無料)

デジタル工作機械などを活用して、地域や自分にとっての必要なものを自分たちでこしらえる営みを「ソーシャル・ファブリケーション」といいます。世界各地の農業の現場で実践されているその実践例やアイデアを紹介しました。

●vol.2『バイオ』

講師:BCL(ゲオアグ・トレメル、福原志保、吉岡裕記、フィリップ・ボーイング)
開催日時:9月26日(土)14:00~16:00
参加者数:46人(参加無料)

近年、注目を集めるバイオ・テクノロジーと食の関係性を紐解くべく、人類の知恵がぎっしり詰まった発酵・醸造技術から最新の遺伝子解析や細胞融合まで、幅広いバイオの世界を実験形式で楽しみながら学びました。

●vol.3『キッチン』

講師:ジェフ・ポッター
開催日時:12月26日(土)14:00~16:00
参加者数:80人(参加無料)

料理の味はさまざまな化学反応によって決定されます。細かく砕いた食材を実際に味わいながら行われた本レクチャーは、私たちが普段何気なく行っている「料理」に対する新たな概念を与えてくれるものとなりました。

【関連】

会場:YCAMホワイエ
参加料:無料

●カルティベーション・パーティー2015春—種まき

参加者:明日香健輔(阿東文庫)、河口隆(アワセルブス)、津田和俊(大阪大学/ファブラボ北加賀屋)、平野浩靖(「ラジオのマネー」パーソナリティ)、吉松敬祐(農家)
開催日時:5月2日(土)14:00~16:30

「アグリ・バイオ・キッチン」プロジェクトのキックオフイベントです。
YCAMスタッフとコラボレーターの津田和俊が、バイオテクノロジーの世界動向や、地域社会での職や農に関連するトピックをあげながら、アグリ・バイオ・キッチンの活動案を提案するプレゼンテーションをおこないました。続けて開かれたテーブルミーティングでは、地域の方々におけるラボラトリーの意義、役割、機能性について、職や農に関わる活動をしている地域の方々を交えて意見交換をおこないました。

●YCAMマルシェ

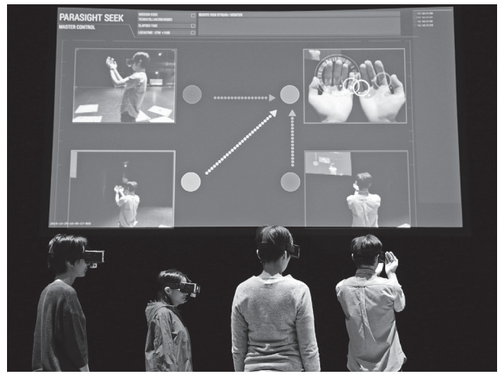
開催日時:5月2日(土)11:00~17:00

●YAMA KITCHEN

開催日時:5月2日(土)12:00~15:00

地産の食品を紹介・販売しました。食を通して、山口の地域資源を再発見するイベントとなりました。











4 Sony CSL×YCAM共同研究開発企画「JackInワークショップシリーズ」

YCAMではソニーコンピュータサイエンス研究所（Sony CSL）と共同で新しいコミュニケーションの形を模索し、人間の能力や感覚を拡張していく事象を探る「JackInワークショップシリーズ」を研究開発しています。
複数人の参加者が簡易型のヘッドマウントディスプレイ（HDM）とカメラを装着して、ネットワーク越しに相互に体験を共有する「JackIn」という状況に身を置きながら、いくつかの簡単なゲームをおこないます。参加者はこの過程を通じて、新しいコミュニケーションの形を探索するとともに、人間の拡張・人間のメディア化の可能性について考えを深めることになります。

●Parallel eyes～視点交換鬼ごっこ～（再掲）

講師：笠原俊一（ソニー・コンピュータ・サイエンス研究所研究員）、YCAM InterLabスタッフ
開催日時：8月22日（土）、8月23日（日）各日14:00～16:00
会場：YCAMスタジオA
参加者数：16人（参加無料）

JackInのシステムを利用しながら「お絵描き」や「鬼ごっこ」をしました。参加者が装着するHDMには自分視点のカメラ映像に加えて、他の参加者の視点カメラの映像も表示されるので、普段のお絵かきや鬼ごっことは異なる状況が生まれます。自分と自分以外の視点から状況を把握する方法や、複数の映像から「自分」を理解する感覚など、“自分”と“自分以外”の新しい関係性がもたらす、ネットワークで接続された体験と、知覚拡張の可能性について感覚的に学ぶワークショップとなりました。

●Parasight seek～視点共有で神経衰弱、かくれんぼ～

講師：笠原俊一（ソニー・コンピュータ・サイエンス研究所研究員）、YCAM InterLabスタッフ
開催日時：10月24日（土）、10月25日（日）各日14:00～16:00
会場：YCAMスタジオA
参加者数：16人（参加無料）

JackInのシステムを利用し、参加者同士の視点を共有しながら「神経衰弱」や「かくれんぼ」をしました。一人の視点映像を複数人のチームメンバーも見ながら協働作業をすることでゲームを進めていきます。参加者は視点を共有しそれに介入することで助け合う方法や、自分に入り込んでくるたくさんの情報から総合的に自分の行動を決める感覚を、ゲームを通じて考え話し合いました。

教育普及

4
4
4※1
4※1
4※2

4 Sony CSL × YCAM共同研究開発企画「JackInワークショップシリーズ」
4※1 ● Parallel eyes ～視点交換鬼ごっこ～
4※2 ● Parasight seek ～視点共有で神経衰弱、かくれんぼ～

EDUCATIONAL









5 コミュニティ・スペース運営

5 コミュニティ・スペース運営

会場:YCAMコミュニティ・スペース

オリジナルワークショップやレクチャーを中心に、小規模のイベントを開催できるスペースです。YCAMは、来場者が最新のメディア・テクノロジーに触れるだけではなく、自らその可能性と意味を主体的に発見し、体験することを重視しており、本事業はその中心的な役割を担っています。

●Walking around surround ワークショップ

開催日時:2016年1月17日(日)、1月24日(日)、1月31日(日)各日15:00~16:30
参加者数:13人(参加無料)

<音を聴く>という行為を捉え直し、「音」と「空間」について学ぶワークショップを開催しました。
目隠ししたまま歩くなどのエクササイズを通じて、人間の聴覚の特徴を理解したうえで、YCAMが開発したワイアレススピーカーを使って「音と空間のコンポジション(作曲)」にチャレンジします。時間軸上に音を配置する一般的な作曲とは異なり、音を空間に配置するというアプローチを通じて、音が空間へと広がり耳へと届く、そのイメージを獲得するとともに、音楽をつくる/聴くという行為に観点をもたらしました。

●感覚アスレチックワークショップ

開催日時:5月27日(水)10:00~12:00、15:00~17:00
2016年3月12日(土)、3月13日(日)、3月26日(土)、3月27日(日)各日14:00~16:00
参加者数:50人(参加無料)

空間の中にさまざまなかたちで張り巡らされたゴムを避けていくというゲーム形式のエクササイズを通じて、自分の身体の特性を把握し「空間と動き」の関係性を学ぶワークショップです。
知っているようで知らない自分の身体への理解を深めることは、建築やダンスなどの空間を扱う表現のエッセンスなどにも繋がる体験となりました。





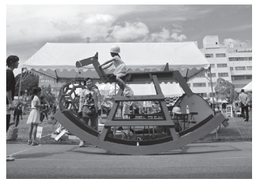












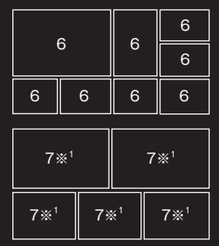












6　Yamaguchi Mini Maker Faire2015

7※1 【関連】未来の山口の運動会

6　Yamaguchi Mini Maker Faire2015

開催日時:9月19日(土)12:00~18:00、9月20日(日)10:00~18:00
会場:YCAMスタジオA、中央公園
入場者数:7,400人(入場無料)

DIY(Do It Yourself=個人による創作)の祭典「Maker Faire」の山口版を開催しました。
Maker Faireとはものづくりを行う個人、機関、企業における「作り手」の発表と交流の場として、技術を使った斬新なアイデア、ノウハウを共有するイベントです。
YCAMでは2013年以来2度目の開催となります。100を超える市民や企業などが集い、DIY精神のもとつくられた作品の展示やプレゼンテーションを行いました。また、会期中には技術力の低い人限定ロボコンである「ミニヘボコン」や12月に開催するスポーツハッカソンに向けて誰もが新しいスポーツの種目を提案できるアイデアソンと開発中の種目の体験会として「スポーツハッカソンプレイベント」をおこないました。
大人から子どもまで楽しめる二日間となり、<ものづくり>を通じた交流がうまれるまたとない機会となりました。

7　YCAM Sports Research Project「スポーツ・ハッカソン」

講師:犬飼博士(ゲーム監督/eスポーツプロデューサー)、米司隆明(運動会屋)、YCAM InterLabスタッフ
開催日時:12月11日(金)~12月13日(日)
会場:YCAMスタジオA
参加者数:24人(参加料3,000円他)

新しいスポーツの形や作り方、楽しみ方を実践する合宿形式のワークショップを行いました。
参加者と共に、「開発/改変(ディベロップ)」と「実践(プレイ)」を同時におこなう「デベロップレイ」を中心に据え、新しい「種目」「運動会」を作り上げました。1日目はYCAMがこれまでに開発してきたツールや、運動会でおなじみのグッズを使用し、アナログ/デジタルを問わないさまざまな道具を改変、制作しました。2日目はそれらを使った種目のルールや形式を考案し13種目の新しいスポーツが生み出されました。最終日の3日目には、山口市民をはじめとした一般の人々を招いて2日間で作り上げた「未来の山口の運動会」を実施しました。
これからもYCAMではテクノロジーと身体活動や社会が高度に融合することでもたらされる、新たな身体像や、社会の変化を「スポーツ」という多くの人々にとって身近な活動を通して追及していきます。

【関連】未来の山口の運動会

開催日時:12月13日(日)9:00~18:00
会場:YCAMスタジオA
参加者数:参加128人、見学43人(参加無料)

「スポーツ・ハッカソン」で生み出された新しいスポーツを実際に大人数で競技しました。アイデアを詰め込んだ運動会を、子どもからお年寄りまでみんなが実践・共有するイベントとなりました。

【関連】スポーツタイムマシン

開催日時:12月13日(日)、12月19日(土)、12月20日(日)各日10:00~18:00
開催場所:スタジオA
参加者数:不明(参加無料)

「スポーツタイムマシン」はスクリーンに映し出される昔の記録と実際に「かけっこ」することができ、また、その時の様子を記録することができる装置です。本作は2013年に開催した「YCAM10周年記念祭」で制作展示され、第17回文化庁メディア芸術祭エンターテイメント部門で優秀賞を受賞するなど高い評価を受け、その後も国内各地で展示がおこなわれています。今回、3日間の期間限定でYCAMに復活しました。





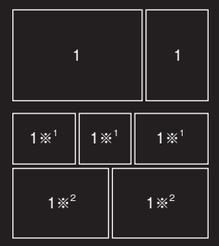












1　　みんなのソーシャルメディアキッチン「YAMA KITCHEN」

1※1 【関連】YAMA KITCHENの1日店長

1※2 【関連】キッズキッチン

1　みんなのソーシャルメディアキッチン「YAMA KITCHEN」

開催日時:2016年1月9日(土)~3月27日(日)毎週土曜、日曜
会場:YCAMレストランスペース
入場者数:819人(シェアキッチン300円他)

「キッチン」を媒介に、地域の情報交換や、コミュニケーションを活性化させる場「ソーシャルメディア」として機能するキッチンを展開しました。
YAMA KITCHENは、2014年に食と文化について活動を行う津田多江子を中心としたメンバーが、YCAMとともに山口市中心商店街の一角でスタートさせたプロジェクトです。このたびYCAM館内に拠点を移し、会期中は常時使用できるシェアキッチンや、珈琲ドリップのワークショップなどが開催されるほか、休憩や読書などにも利用していただけるよう、お弁当や飲み物の販売もするなど、日常的な会話を楽しみながら、山口の芸術文化・地場産業にまつわる創造的な思考を交換する場を提供しました。

【関連】YAMA KITCHENの1日店長

会場:YCAMレストランスペース
YCAMのスタッフやプロジェクトに関わりのあるゲストが一日店長をつとめ、店長の得意料理、郷土料理、家庭の味、思い入れのある料理などのレシピを紹介し、参加者と料理をしながら交流する会を開きました。

●リサーチャーナイト

講師:レザ・アリ(Guest Research Projectゲストリサーチャー)
開催日時:2016年1月16日(土)19:00~22:00
参加者数:参加8人、見学9人(参加料500円)

●コリアンナイト

講師:朴鈴子(YCAMスタッフ)
開催日時:2016年1月30日(土)19:00~22:00
参加者数:参加14人、見学23人(参加料500円)

●フィルムファクトリーナイト

講師:柴田剛(映画監督)
開催日時:2016年1月31日(日)19:00~22:00
参加者数:参加8人、見学17人(参加料500円)

●ファブキッチン

講師:田吹東悠(FabLab Yamaguchi)
開催日時:2016年2月20日(土)19:00~22:00
参加者数:参加14人、見学2人(参加料500円)

●アグリナイト

講師:津田和俊(大阪大学/ファブラボ北加賀屋)
開催日時:2016年2月27日(土)19:00~22:00
参加者数:参加13人、見学9人(参加料500円)

●バイオバー

講師:菅沼聖・今野恵菜(YCAMスタッフ)
開催日時:2016年3月5日(土)19:00~22:00
参加者数:参加14人、見学4人

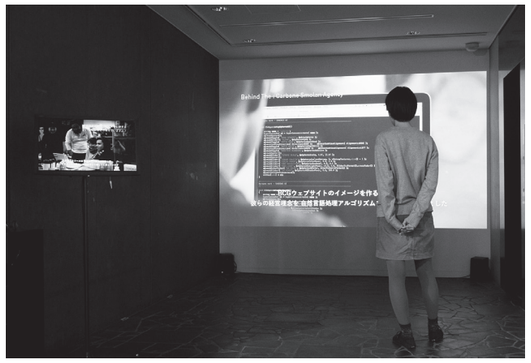
【関連】キッズキッチン

開催日時:2016年1月10日(日)、2月21日(日)、3月20日(日)
参加者数:参加29人、見学23人

子どもたちと料理の五感体験の中から「食とアートを愉しむ時間」を提案します。「きのこ」をテーマに、計3回のキッズキッチンではYAMA KITCHENのプランターできのこの栽培・観察や、図書館で絵本・レシピの調査、収穫したきのこのクッキングなどを行いました。

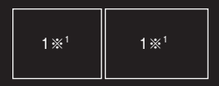






地域開発／ラボ





1　Guest Research Project Vol.3

1※1【関連】Introduction of Reza Ali—レザ・アリ紹介展示

2　DESIGNEAST 06 XO—交流、そして、連携するDESIGNEAST

開催日時:10月10日（土）～10月12日（月）
会場:YCAM他
参加者数:90人（参加料18,000円他）

「デザインする状況をデザインする」ことを目的に、2009年から展開しているプロジェクト「DESIGNEAST」が山口に上陸しました。参加者は農家や漁師の方と交流したり、テーブルセッションやフィールドワークを行い、山口から大阪へと移動します。豊かな自然の中で育まれた山口の食文化と、産業の発展を下支えした大阪の人工的な環境を、「循環する水資源」を切り口に捉え直す機会を提供しました。

[5] ラボ
LAB

1　Guest Research Project Vol.3

ゲストリサーチャー:レザ・アリ（アメリカ／コンピュテーショナル・デザイナー／エンジニア）
実施期間:12月～2016年2月

先端的なテーマに取り組むアーティスト／技術者を招聘し、YCAM InterLabと共同で研究開発をおこなうプロジェクトの第3弾です。
外部の優れた人材と研究開発事業に取り組み、その成果を公開することで、インターラボの研究開発機能の充実を図ると同時に最新技術と新たな表現に関する国際的なコミュニティの創出をめざします。
今回はアメリカ・サンフランスシスコを拠点に活動するレザ・アリを招聘し、3Dプリンターで印刷可能な3Dデータを生成するための、ウェブ上で機能するデザインツール・インターフェースの研究開発と、そのためのソフトウェアライブラリの制作を共同で行いました。

【関連】新しい3Dデザイン体験ワークショップ

開催日時:2016年2月11日（木）14:00～16:00
会場:YCAMコミュニティ・スペース
参加者数:12人（参加無料）

Guest Research Project vol.3で開発した「3Dデータをデザインするためのアプリケーション」を実際に使用しながら、新しい「ものづくり」の方法を体験するワークショップを開催しました。

【関連】Introduction of Reza Ali—レザ・アリ紹介展示

開催日時:12月19日（土）～2016年2月21日（日）
会場:YCAM1階中央公園側エレベーターホール

レザ・アリがこれまでに手掛けたミュージックビデオなどの作品を紹介するほか、今回の滞在中に取り組む研究開発について語ったインタビュー映像などを展示しました。

CINEMA

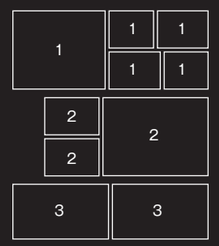










1 YCAM Film Factory vol.1

2 YCAM Film Factory vol.2

3 真夏の夜の星空上映会

1 YCAM Film Factory vol.1

実施期間:通年
共同制作者:柴田剛（映画監督）

今年度から始まった、YCAMプロデュースのもと新作映画を製作するプロジェクトの第一弾です。ここ10年のうちにフィルムからデジタルに移行するなど、映画の周辺で大きな変化はあるものの映画製作のスタイルはほぼ変わっていません。そんな環境の中、「自由な映画製作を模索する」というキャッチコピーの元、山口県内で映画製作をおこないました。完成作品「ギ·あいうえおス 他山の石を以って己の玉を磨くべし」は2016年度にYCAMをはじめとする国内の劇場や国内外の映画祭で発表します。

2 YCAM Film Factory vol.2

実施期間:通年
共同制作者:富田克也（空族／映画監督／脚本家）、相澤虎之助（空族／映画監督／脚本家）、スタジオ石（映像制作プロダクション）

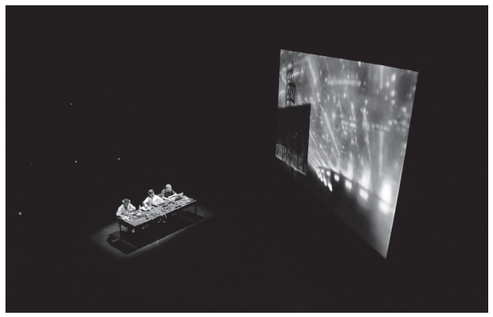
「サウダーヂ」などで知られる映像制作集団·空族が現在製作中の新作映画「バンコクナイツ」のメイキング映像を制作しています。完成品は2016年度にYCAMをはじめとする国内の劇場や国内外の映画祭で発表します。

3 真夏の夜の星空上映会

開催日時:8月14日（金）、8月15日（土）、8月16日（日）
会場:山口市中央公園
入場者数:950人（入場無料）

隣接する山口市中央公園の芝生の上で映画鑑賞を行う野外上映会を開催しました。
このイベントはYCAM開館翌年の2004年から毎年おこなっており、現在ではイベント開催に合わせて露店も出るなど、YCAMの夏の風物詩として親子連れから仕事帰りの方まで幅広い年齢層の方々でにぎわっています。涼しい夜風と星空のもと、くつろぎながら映画を鑑賞できる本イベントでは、屋内の鑑賞とは一味違った雰囲気で映画を味わっていただきました。
上映作品:「鴛鴦歌合戦」「レゴ®ムービー」「キッズ·リターン」













4	4※[1]
4※[2]	4※[3]

5	5

4　YCAM 爆音映画祭 2015 ～未知との遭遇！
4※[1]　【関連】「THE COCKPIT」＋無声映画ライブ上映
4※[2]　【関連】石井岳龍監督トークイベント
4※[3]　【関連】富田克也＆相澤虎之助トークイベント
5　映画女優・宮下順子をトッた監督たち

4　YCAM爆音映画祭2015～未知との遭遇！

開催日時:8月28日（金）、8月29日（土）、8月30日（日）
会場:YCAMスタジオA
入場者数:645人（入場料1,300円他）

会場に大規模かつ高品質な音響機器をセッティングし、繊細に調整された大音量の中で映画を鑑賞する「爆音映画祭」を開催しました。このイベントは映画評論家の樋口泰人が東京を拠点に全国各所で開催しており、YCAMでは今回が3回目の開催になります。
日本屈指の音響環境を誇るYCAMで「爆音」に身をゆだねながら映画を鑑賞する本イベントは、作品内で追及されているサウンド面の核心をはじめ、これまで気づくことのなかった映画の新しい領域に鑑賞者をいざないました。
上映作品:「未知との遭遇」「恐怖分子」「時計仕掛けのオレンジ」「イグジステンズ」「リヴァイアサン」ほか計10作品

【関連】「THE COCKPIT」＋無声映画ライブ上映

出演:OMSB（SIMI LAB）、Hi'Spec（SIMI LAB）
開催日時:8月28日（金）19:00～21:00

今回のオープニングは、ミュージシャンたちが楽曲を共同制作する過程をとらえた、三宅唱監督のドキュメンタリー作品です。
上映後は、本作出演者であるOMSBとHi'Specによる無声映画ライブ上映をおこないました。喜劇王バスター・キートンの名作「バスター・キートンのハード・ラック（HARD LUCK）」（1921年/アメリカ）に、三宅唱監督によるスペシャル映像を組み合わせた映像に、即興で音を紡いでいきました。

【関連】石井岳龍監督トークイベント

出演:石井岳龍（映画監督）
開催日時:8月30日（日）15:20～15:50

「ソレダケ／that's it」上映終了後に、本作監督によるトークイベントを開催しました。

【関連】富田克也&相澤虎之助トークイベント

出演:富田克也（空族）、相澤虎之助（空族）
開催日時:8月30日（日）21:30～22:00

「地獄の黙示録 劇場公開版」上映終了後に、映画監督／脚本家の富田克也と相澤虎之助によるトークイベントを開催しました。

5　映画女優・宮下順子をトッた監督たち

開催日時:2016年1月8日（金）～2016年1月24日（日）
会場:YCAMスタジオC
入場者数:472人（入場料1,300円他）

今なお色褪せることのない日活ロマンポルノの代表的女優として多くの傑作を生みながら、一般作品でも強い印象を残し、その後、独立プロ作品などにも出演し、現在に至るまで独自の存在感を放つ宮下順子。彼女の出演作から70年代・80年代の日本映画の激動期が刻まれた傑作12作品を厳選上映しました。
ロマンポルノ作品の上映期間中は、会場の後列2列を女性専用席とし、往年のファンの方はもちろん、初めて鑑賞するお客さまにもお楽しみいただきました。
上映作品:「四畳半襖の裏張り」「赫い髪の女」「濡れた週末」「嗚呼!!花の応援団」他

【関連イベント】トークイベント

ゲスト:宮下順子（女優）、白鳥あかね（スクリプター・脚本家）
司会:山根貞男（映画評論家）
開催日時:1月10日（日）
入場者数:95人（入場無料）

6　Select CINE TECTONICS

芸術史およびメディア史の視点から、芸術作品としての映画のあり方を紹介するシリーズ。世界の様々な地域の古典から新作まで、山口では上映される機会の少ない作品の数々を上映しています。

●Select CINE TECTONICS #21「B級映画の帝王エドガー・G・ウルマー」

開催日時:7月4日（土）～7月12日（日）
会場:YCAMスタジオC
入場者数:109人（入場料1,000円他）
上映作品:「恐怖のまわり道」「青ひげ」「日曜日の人々」等

多彩なジャンル、言語の映画を量産した「B級カルトの帝王」として有名であり、近年再評価が進んでいる映画作家エドガー・G・ウルマーの代表作を一挙上映しました。

【関連】トークイベント「映画作家エドガー・G・ウルマーについて」
ゲスト:吉田広明（映画批評家）
開催日時:7月4日（土）18:30～19:30
入場者:18人（入場無料）

●Select CINE TECTONICS #22「サミュエル・フラー監督特集」

開催日時:2016年3月19日（土）～2016年3月26日（土）
会場:YCAMスタジオC
入場者数:167人（入場料1,000円）
ジャン＝リュック・ゴダール、ヴィム・ヴェンダース、アキ・カウリスマキら名だたる映画監督たちに愛され、20世紀アメリカを体現する映画監督サミュエル・フラー（1912-97）。「サミュエル・フラー自伝　わたしはいかに書き、闘い、映画をつくってきたか」（boid刊）刊行を機に、フラー監督作7作品とドキュメンタリー作品1作品を特集上映しました。

【関連】特集トークイベント
登壇:安井豊作（映画批評家／「シネ砦」編集委員）、樋口泰人（映画評論家／爆音映画祭主宰）
開催日時:2016年3月19日（土）17:30～18:30
入場者数:18人（入場無料）

7　特集上映

会場:YCAMスタジオC
入場料:1,300円他

作家やテーマ別のYCAMだけのオリジナルの特集企画のほか、文化庁推薦作品などの優れた特集シリーズを巡回上映しています。特集にあわせ、監督や評論家によるゲストトークも開催しました。

●金曜夜のYCAMシネクラブ

開催日時:4月10日（金）～2016年3月25日（金）の内37日間
入場者数:565人
上映作品:「おんなのこきらい」「国道20号線」「ドライブイン蒲生」等

これからの活躍が期待される現代日本の映画作家を紹介する金曜夜限定のプログラムです。

●韓国映画の恋愛事情―ホン・サンスとキム・ギドクの場合

開催日時:4月11日（土）～4月19日（日）の内4日間
入場者数:156人
上映作品:「自由が丘で」「ヘウォンの恋愛日記」「ソニはご機嫌ななめ」「メビウス」

韓国映画の「水」と「油」とも称されるホン・サンス（1961～）とキム・ギドク（1960～）（「キネマ旬報」2014年12月15日号）。世界で評価される両監督の共通するテーマでもある「恋愛」と「性」について描いた最新公開作を一挙上映しました。

●ポスト3.11に向けて

開催日時:4月24日（金）～4月26日（日）の内3日間
入場者数:119人
上映作品:「小さき声のカノン―選択する人々」「フタバから遠く離れて［第二部］」「ラジウム・シティ 文字盤と放射線・知らされなかった少女たち」

3.11から4年が経過し、これからの生き方について示唆に富んだドキュメンタリー作品を上映しました。

●世界の美術館へようこそ!

開催日時:5月1日（金）～5月4日（月・祝）
入場者数:353人
上映作品:「みんなのアムステルダム国立美術館へ」「ナショナル・ギャラリー英国の至宝」「ヴァチカン美術館 天国への入り口」

ヨーロッパを代表する3つの美術館のドキュメンタリーを上映しました。

●ラッパー／リリック／ヒップホップ

開催日時:5月5日（火・祝）～5月10日（日）のうち4日間
入場者数:173人
上映作品:「Living Behavior 不可思議／wonderboy 人生の記録」「谷川さん、詩をひとつ作ってください。」「サウダーヂ」

日本語ラップとポエトリーのいまを見つめる映画を上映しました。

●さよなら歌舞伎町、こんにちは新宿

開催日時:5月16日（土）～5月24日（日）の内5日間
入場者数:155人
上映作品:「さよなら歌舞伎町」「水の声を聞く」「薔薇の葬列」

時代を超えて映画作家を刺激する街、東京・新宿を舞台とした映画を上映しました。

【関連】「熊楠KUMAGUSU」パイロット版特別上映&山本政志監督トークイベント
ゲスト:山本正志（映画監督）
開催日時:5月16日（土）18:30～19:45
参加者数:45人（参加無料）

●巨匠たちの愛の到達点:フィリップ・ガレルとジャック・ドワイヨン

開催日時:6月6日（土）～6月13日（土）の内3日間
入場者数:72人
上映作品:「ラブバトル」「ジェラシー」

ポスト・ヌーヴェルヴァーグと称されるふたりの新作を上映しました。

●21世紀最高の傑作と20世紀最後の傑作:アレクセイ・ゲルマン

開催日時:6月6日（土）～6月21日（日）の内7日間
入場者数:151人
上映作品:「神々のたそがれ」「フルスタリョフ、車を!」

「ソヴィエト」で世界を対峙し続けた映画監督アレクセイ・ゲルマン（1938-2013）による世界を驚嘆させた異形の傑作2作品を上映しました。

●山戸結希という才能

開催日時:6月20日（土）～7月3日（金）の内4日間
入場者数:185人
上映作品:「おとぎ話みたい」「あの娘が海辺で踊ってる[完全版]」

最強の少女映画を連発し圧倒的な支持を受ける映画界の超新星・山戸結希監督の作品を上映しました。

【関連】山戸結希監督トークイベント&短編2作品特別上映
ゲスト:山戸結希（映画監督）
開催日時:6月20日（土）19:30～21:30


山戸結希監督トークイベント

●つゆドキドキピクニック

開催日時:6月27日（土）～6月28日（日）
入場者数:66人
上映作品:「郊遊〈ピクニック〉」「ピクニック〈デジタルリマスター版〉」

映画史上に残る傑作中編のジャン・ルノワール監督作と、台湾の鬼才ツァイ・ミンリャンの最後の監督作。同じタイトルを冠しながら、全く対照的な2作品を上映しました。

●ラジオの恋

開催日時:7月5日（日）
入場者数:20人
上映作品:「ラジオの恋」

広島を舞台に、ラジオが起こす小さな奇跡を描いた物語を上映しました。

●シュヴァンクマイエル映画祭2015

開催日時:7月19日（日）～7月26日（日）の内4日間
入場者数:200人
上映作品:「アリス」「サヴァイヴァングライフ―夢は第二の人生―」等

チェコのシュルレアリスト、シュヴァンクマイエルの入門編として長編作品と短編作品を上映しました。

【関連】映画を2回観る会2015 vol.1
ナビゲーター:ペトル・ホリー（「チェコ蔵」主宰）
開催日時:7月19日（日）13:30～15:30

ある一本の短編作品をナビゲーターによる解説や参加者同士の感想共有を間に挟んで2度鑑賞するというワークショップ形式のイベントを開催しました。

●未知なるものへの想像力

開催日時:8月1日（土）～8月9日（日）の内5日間
入場者数:83人
上映作品:「ルック・オブ・サイレンス」「イマジン」「ザ・トライブ」

不可視・不可聴、埋もれた歴史。異なる価値観の世界に耳を傾ける3作品を上映しました。

●アートの裏側

開催日時:8月21日（金）～8月23日（日）
入場者数:124人
上映作品:「だれも知らない建築のはなし」「ディオールと私」

国際的建築家たちと世界的ファッション・デザイナーについて、華々しさの舞台裏を追う内容の作品を上映しました。

●市川雷蔵と中村錦之助《優秀映画鑑賞推進事業》

開催日時:9月3日（木）～9月6日（日）
入場者数:168人
上映作品:「弁天小僧」「眠狂四郎殺法帖」「反逆児」「水掛時次郎遊侠一匹」

日本映画の名作をご紹介する「優秀映画鑑賞推進事業」。多くの映画ファンを魅了し一世を風靡した二大スターの作品をご堪能いただきました。

●「ローリング」と冨永昌敬初期傑作選

開催日時:8月7日（金）～9月13日（日）の内4日間
入場者数:68人
上映作品:「ローリング」「亀虫」「シャーリー・テンプル・ジャポン」

比類なき映画話法をもつ冨永昌敬監督の最新作「ローリング」の公開に合わせ初期傑作をセレクト上映しました。

●天才絵描きの肖像

開催日時:9月21日（月・祝）～9月27日（日）の内5日間
入場者数:415人
上映作品:「百日紅（さるすべり）―Miss HOKUSAI―」「ターナー、光に愛を求めて」

葛飾北斎を父に持つ浮世絵師・お栄、イギリスを代表する画家・ターナー。才能に溢れつつ、不器用に生きた絵描きの人生を描いた最新公開二作品です。

●クリープハイプと青春!

開催日時:10月17日(土)～11月20日(金)の内4日間
入場者数:218人
上映作品:「私たちのハァハァ」「百円の恋」

人気ロックバンド:クリープハイプによる音楽に彩られた、新鋭の監督による傑作青春映画2作品を上映しました。

●マミーだって抱きしめられたい

開催日時:10月24日(土)～11月1日(日)の内5日間
入場者数:251人
上映作品:「きみはいい子」「Mommy／マミー」「エレファント・ソング」

今を生きる母親たち。中脇初枝による同盟ベストセラーを映画化した注目の日本映画と、世界が注目する若き俊英グザヴィエ・ドランの最新監督作と出演作を上映しました。

●秋深まる映画の旅

開催日時:11月7日(土)～11月15日(日)の内4日間
入場者数:121人
上映作品:「ロマンス」「神宮希林わたしの神様」

スクリーンで味わうショート・トリップ。小田急ロマンスカーと箱根を舞台にした大島優子主演作と樹木希林がお伊勢参りをする旅映画です。

●写真家が捉える世界の向こう

開催日時:11月14日(土)～11月23日(月・祝)の内4日間
入場者数:170人
上映作品:「フリーダ・カーロの遺品―石内都、織るように」「セバスチャン・サルガド地球へのラブレター」「未来をなぞる写真家・畠山直哉」

世界で最も有名な女性画家の遺品、世界の最果てへ向けるファインダー、そして、震災と向き合う写真家のドキュメンタリーを上映しました。

●映像と人類、あるいは人間について11の省察

開催日時:12月5日(土)～12月27日(日)の内12日
入場者数:226人
上映作品:「リヴァイアサン」「ジミーとジョルジュ　心の欠片を探して」「コングレス未来学会議」他

南米チリ、アメリカとネイティブ、ホロコーストの記憶と記録、そしてSFで想像する未来。人間を多角的に捉える映画たちを上映しました。

●ドキュメンタリー:21世紀の資本

開催日時:2016年2月6日(土)～2016年2月13日(土)の内3日間
入場者数:112人
上映作品:「みんなのための資本金」「シャーリー&ヒンダ ウォール街を出禁になった2人」

新自由主義経済の綻びが加速するアメリカ。映画で「経済」を理解する秀作ドキュメンタリー2作品を上映しました。

●ダイアローグの引力

開催日時:2016年2月11日(日)～2016年3月27日(日)の内8日間
入場者数:298人
上映作品:「知らない、ふたり」「ハッピーアワー」「アクトレス　女たちの舞台」「雪の轍」

ドラマを生む登場人物の対話(ダイアローグ)。国際的に高い評価を得る映画作家の4本の新作を上映しました。

●「食べる」ドキュメンタリー vol.3 コーヒー&ステーキ最前線

開催日時:2016年2月28日(日)～2016年3月6日(日)の内3日間
入場者数:135人
上映作品:「ア・フィルム・アバウト・コーヒー」「ステーキ・レボリューション」

本当に美味しいものはどこから生まれてくるのか―コーヒーとステーキを巡って世界を旅する映画たちを上映しました。

●戦時下の日本人

開催日時:2016年3月5日(土)～2016年3月13日(日)の内5日間
入場者数:299人
上映作品:「FOUJITA―フジタ―」「野火」

戦時下において特殊な環境に置かれた日本人画家、そしてある兵士の肖像。今だからこそスクリーンで見ておきたい国際的に評価の高い日本人監督の渾身の力作です。

●Maker(Yamaguchi Mini Maker Faire2015関連無料上映)

開催日時:9月19日(土)
入場者数:41人
「第三の産業革命」とも呼ばれる、この「メイカー・ムーブメント」を加速させる、思想やツール、キーパーソン紹介する作品です。

●メディア・アートの入り口としてのアニメーション(YCAM Film Factory特別企画)

開催日時:10月10日(土)～10月12日(月・祝)
入場者数:98人
現代的で先端的なアニメーション作品と新しい才能を世界に輩出する東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻。同大学院、伊藤有壱教授によるキュレーションにて、最新の終了制作作品集と伊藤有壱監督アニメーション作品を紹介しました。

【関連】映画を2回観る会2015 vol.2
ナビゲーター:伊藤有壱(アニメーションディレクター)
開催日時:10月10日(土)13:30～15:30
会場:スタジオC
上映作品:「HABOR TALE」(2011年/18分)

ある一本の短編作品をナビゲーターによる解説や参加者同士の感想共有を間に挟んで2度鑑賞するというワークショップ形式のイベントを開催しました。



映画を2回観る会 2015 vol.2

[7] 主な貸館事業

●第10回サステナブルデザイン国際会議

（主催）サステナブルデザイン会議実行委員会
開催日時:5月3日13:00～
会場:YCAMスタジオB

●BIG BAND JAZZ JOINT CONCERT 2015

（主催）山口大学医学部軽音楽部Latin Echoes
開催日時:5月9日18:30～
会場:YCAMスタジオA

●映画「みんなの学校」上映会と講演会

（主催）ファミーユ
開催日時:8月15日（土）13:30～
会場:YCAMスタジオC

●薩長同盟150年記念シンポジウム

（主催）山口市商工会議所
開催日時:2016年1月16日（土）13:50～
会場:YCAMスタジオA

[8] 施設利用状況

1　入館者数

月別内訳（人）

4月	46,078	10月	56,895
5月	60,622	11月	52,790
6月	54,677	12月	43,333
7月	64,396	1月	47,998
8月	71,116	2月	54,821
9月	59,136	3月	44,692
合　計	656,554		

2　見学･視察者数

月別内訳（人）

4月	74	10月	72
5月	81	11月	7
6月	74	12月	99
7月	31	1月	85
8月	22	2月	16
9月	77	3月	30
合　計	668		

3　施設使用状況

施設	開館日数（日）	使用日数（日）	使用率（%）
スタジオA	308	125	41.0
スタジオB	308	236	76.9
スタジオC	308	188	61.3
多目的室	308	178	57.7

※使用率は月ごとの使用率の平均値を記載しています。

[9] その他特記事項

1 アーカイブ事業

内容:例年通り、プロジェクト毎の映像編集を実施した。Webやインフォメーションスペースにおいて、イベントの告知や、過去の作品内容の情報提供に努めました。

2　実習生受け入れ状況

●博物館実習
1名（山口県立大学）
期間:8月26日（水）～8月31日（月）
内容:教育普及事業運営補助等

●インターン
1名（パフォーミング･アーツ香港アカデミー）
期間:7月3日（金）～8月1日（土）
内容:YCAM InterLab課業務補助等

1名（東京藝術大学）
期間:8月2日（日）～9月28日（月）
内容:YCAM InterLab課業務補助等

●生徒職場体験
1名（島根県立津和野高等学校）
期間:7月22日（水）～7月24日（金）
内容:教育普及事業運営補助等

主な関連新聞記事

主な関連新聞記事

主な関連新聞記事

主な関連新聞記事

主な関連新聞記事

〈参考資料〉
山口情報芸術センターの活動成果

YCAM InterLabオリジナルプロダクション／対外効果

[アート部門]

渋谷慶一郎+岡田利規「THE END」

音楽家の渋谷慶一郎と演出家の岡田利規が「終わり」をテーマにした、人間の歌手もオーケストラも登場しない初音ミクによるボーカロイド・オペラを制作。東京、パリを巡回した。
2012年12月1日-2日 YCAM
2013年5月23日-24日（Bunkamuraオーチャードホール/東京）
2013年11月12日-15日（Théâtre du Châtelet /パリ/フランス）

三上晴子「Desire of Codes ¦ 欲望のコード」

2010年に山口情報芸術センター[YCAM]にて委嘱制作し公開された。
2010年3月20日-2010年6月6日 YCAM
■「蠢く壁面」「巡視する複眼スクリーン」
2010年7月31日-9月5日 "TRUST"（Dortmund U/ドルトムント/ドイツ）
2012年8月27日-9月30日 Ars Electronica 2012(LENTOS Kunstmuseum/リンツ/オーストリア)
2013年2月13日-2月24日 第16回文化庁メディア芸術祭（国立新美術館/東京）
2013年7月5日-9月8日 Artist as Catalyst（La Alhóndiga Cultural Centre /スペイン）
2014年5月17日 Wonder of Fantasy:The Transformation of Coontemporary Image-scape(国立台湾美術館/台湾)
■「多視点を持った触覚的サーチアーム」
2010年8月5日-9月20日 "SPACE INVENTIONS"（Kunstlerhaus/ウィーン/オーストリア）
2011年10月22日-12月18日 ICC（初台/東京）
2012年8月27日-9月30日 Ars Electronica 2012(LENTOS Kunstmuseum/リンツ/オーストリア)
2013年2月13日-2月24日 第16回文化庁メディア芸術祭（国立新美術館/東京）
2013年7月5日-9月8日 Artist as Catalyst（La Alhóndiga Cultural Centre /スペイン）
2014年5月17日-8月3日 Wonder of Fantasy:The Transformation of Coontemporary Image-scape（国立台湾美術館/台湾）

「大友良英 / ENSEMBLES/quartets」

2008年に実施した「大友良英/ ENSEMBLES」展5作品の内、「quartets」について巡回した。
2008年7月5日-10月13日 YCAM
2013年12月21日-2014年2月16日 Media/Art Kitchen（Bangkok Art and Culture Centre [BACC]／バンコク／タイ）
2014年11月22日-2015年2月22日 大友良英　音楽と美術のあいだ（NTTインターコミュニケーション・センター[ICC]/東京）

渋谷慶一郎+池上高志「filmachine」

渋谷慶一郎と複雑系科学研究者の池上高志両氏によるコラボレーション作品。彼らが提唱する複雑系科学を応用した新しい音楽構成理論「第三項音楽」に基づいて緻密に作り上げられたコンピュータサウンドによる立体音響インスタレーションがMEDIA AMBITION TOKYOを巡回した。
2006年8月9日-10月9日 YCAM
2011年3月10日-20日 Festival EXIT （クレテイユ／フランス）
2011年3月24日-4月3日 Festival VIA（モブージュ／フランス）
2011年4月13日-8月14日 Gare Saint-Sauveur（リール／フランス）
2014年2月7日-3月30日 MEDIA AMBITION TOKYO（東京シティビュー／東京）

大脇理智「skinslides」

アートの地平を切り開く挑戦的なプロジェクトや、今後が期待される若手アーティストのインスタレーションなどを紹介する展示シリーズ「scopic measure」の第9弾として、ダンサーの大脇理智を中心としたアーティストグループnewClearが制作。文化庁メディア芸術祭を受賞した。
2009年4月25日-8月31日 YCAM
2014年2月26日-3月9日 文化庁メディア芸術祭釧路展（北海道立釧路美術館/北海道）
2014年9月5日-9月21日 文化庁メディア芸術祭松山展（愛媛県立美術館/愛媛）

池田亮司「supersymmetry」

日本を代表する電子音楽作曲家でアーティストの池田亮司による新作インスタレーション作品。フランスのル・リュー・ユニック・ユニック・ナント芸術センターとの共同制作の本作は、フランスでも巡回展示された。
2014年6月27日-9月21日 Le Lieu Unique（ナント／フランス）

坂本龍一+YCAM InterLab「Forest Symphony」

YCAM10周年記念祭の一環として、10周年記念祭のアーティスティック・ディレクターを務める坂本龍一とYCAM InterLabにより制作発表されたインスタレーション+ウェブコンテンツです。
2014年7月19日-9月28日 札幌国際芸術祭2014（モエレ沼公園/札幌）

セミトラ「eyefont」

2011年にYCAMで開催された展覧会シリーズ「LabACT」において発表された新作展示の一つで、体験者の視線の動きを使って文字書体（フォント）を作りだすソフトウェアアート。
2015年10月16日-11月3日 Tokyo Midtown DESIGN TOUCH（東京ミッドタウン/東京）

パフォーミングアーツ部門

梅田宏明新作ダンス公演「Holistic Strata」

2011年2月19日-20日 YCAM
2011年3月10日-12日 EXIT-Festival（クレテイユ／フランス）
2011年3月31日-4月1日 VIA Festival（モブージュ／フランス）
2011年6月9日 ARTROCK Festival（サン・ブリュー／フランス）
2011年7月9日-10日 Julidans（アムステルダム／オランダ）
2011年8月25日-27日 Noorderzon Performing Arts Festival（フローニンゲン／オランダ）
2012年4月19日-21日 Usine C-Festival Temps d'Images（/カナダ）
2012年4月29日 Belrut International Platform of Dance(/レバノン)
2012年5月2日 Ramallah Contemporary Dance Festival(/パレスチナ)
2012年5月8日 Cultuurcentrum Hasselt(/ベルギー)
2012年9月25日-27日 La Blennale de la Danse/Theatre de la Renalssance(/フランス)
2013年6月26日 МЕДИАФЕСТИВАЛЬ (Winzavod Contemporary Art Center/モスクワ/ロシア)
2013年9月6日 あいちトリエンナーレ2013(愛知県芸術劇場/愛知)
2013年10月18日-19日 da:ns festival (Esplanade Theatre Studio/シンガポール)
2014年9月10日 Beakerhead（EPCOR CENTRE for Performing Arts/カナダ）
2014年10月16日 COTE　OUEST（Base sous-marine/フランス）
2014年11月25日 Stereolux（/フランス）
2014年11月29日 Convergence Summit（The Banff Centre/カナダ）
2014年12月5日 Automne en Normandie　2014（Le Rive Gauche/フランス）
2015年1月30日-31日 Trafó（/ハンガリー）
2015年10月10日 BOZAR Electronic Arts Festival（Hall M/ベルギー）

［教育普及部門］

熊本市現代美術館ワークショップ招聘

熊本市現代美術館の夏休みイベントとして、身近なケータイというメディアを使って、マナーとルールを学ぶメディアリテラシーワークショップ「ケータイ・スパイ・大作戦」が招聘された。
2013年8月1日（熊本市現代美術館／熊本）

キッズデザイン展ワークショップ招聘

オリジナルワークショップシリーズがキッズデザイン賞2012の最優秀賞　経済産業大臣賞を授与したことから、同協議会が新潟市で開催する子ども向けイベント「キッズデザイン展」に受賞ワークショップのひとつ「感覚アスレチック」が招聘された。
2013年11月9日-10日（新潟県立自然科学館／新潟）

■受賞歴
犬飼博士/安藤僚子「スポーツタイムマシン」
第17回文化庁メディア芸術祭エンターテイメント部門　優秀賞受賞

YCAM InterLab+安藤洋子　共同研究開発プロジェクト　「Reactor for Awareness in Motion」
第17回文化庁メディア芸術祭アート部門　審査委員会推薦作品
2014年グッドデザイン賞　グッドデザイン賞受賞

子どもたちが創造する屋外メディア公園「コロガルパビリオン」
第17回文化庁メディア芸術祭アート部門エンターテイメント部門　審査委員会推薦作品

メディアアートセンターから提案する新しい学び場環境「コロガル公園」シリーズ
2014年グッドデザイン賞　グッドデザイン賞受賞

子どもたちが創造する屋外メディア公園「コロガルパビリオン」
第8回キッズデザイン賞　審査委員長特別賞受賞

平成27年度
山口情報芸術センター事業報告書

山口情報芸術センター
Yamaguchi Center for Arts and Media

〒753-0075 山口市中園町7-7
TEL : 083-901-2222 FAX : 083-901-2216
e-mail : information@ycam.jp
http://www.ycam.jp

［発行］平成28年9月

公益財団法人 山口市文化振興財団
Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion

〒753-0075 山口市中園町7-7
TEL : 083-901-2222 FAX : 083-901-2216
e-mail : zaidan-info@ycfcp.or.jp
http://www.ycfcp.or.jp/